



be 京都

■建物概要

所在地：上京区新町通上立売上る安楽小路町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約200㎡

建築年次：江戸末期

用途：（改修前）空き家→（改修後）貸しギャラリー・貸教室

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（イベントの様子）

◆活用の概要

新たな情報発信拠点の場を探していた内山さんが空き家だったこの京町家を借り、長い歴史の中で姿を変えてしまった外観を修復されました。「be京都」と名付けて、京都の文化を全国へ発信する拠点として活用すると共に、地域の活性化にも取り組まれており、学生や地域の方々をはじめ、幅広い年齢層の人達の創造活動及び発表の場となっています。

内山さんからのコメント

この京町家は持ち家で無い分、改修費も決して安くはありませんでしたが、設計者さんや大工さんとの良い出会いがあり、無事再生することができました。展覧会や教室に活用され、この家が喜んでいるのが実感できます。



池内邸

■建物概要

- 所在地：中京区押小路通柳馬場西入竹屋町
構造規模：本二階建て 延べ面積：約115㎡
建築年次：明治期
用途：（改修前）住居→（改修後）住居
改修工事の概要（助成対象工事）：
・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（ガレージ開時）

◆活用の概要

留学生など学生向けの下宿として長い間使っておられましたが、息子さん御夫婦の住居として、改修され、引継がれました。出格子部分を開閉式として、外観意匠を変えずに、駐車スペースとして活用されています。

池内さんからのコメント

世界各国からの学生、日本の学生が京都で一時期を過ごした、みんなの思い出が詰まったこの京町家が、今後も京都に残っていくことを望んでいます。



鈴木邸 / 八百林

■建物概要

所在地：中京区丸太町通烏丸東入光り堂町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約80㎡

建築年次：大正期

用途：（改修前）空き家→（改修後）店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

20年以上空き家となっていた京町家を店舗として再生、京町家本来の外観に修復されました。江戸時代に創業し、隣のビルで営業されていた果物店をこの京町家に移転し、新たに店舗として活用されました。

（平成24年春、居住出来るように再改修されて、現在この姿は見られません。同年6月に売却され、平成25年春から喫茶店となっています。）



中井邸 / 三条猪熊・なかい

■建物概要

所在地：中京区猪熊通三条下る三条猪熊町

構造規模：厨子二階建て・長屋建て 延べ面積：約170㎡

建築年次：明治20年頃

用途：（改修前）住居→（改修後）住居・食育活動拠点

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・内部一部の改修および火袋の復元
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

住居としての利用に加え、管理栄養士の経験を活かして、「京都食育キャラバン隊」などの活動に携わってこられた所有者が、地域での食育活動の拠点として活用されるとともに、小学校の授業をはじめ、地域のコミュニティスペースの拠点として、活用されています。

中井さんからのコメント

まちづくりファンド第一号として予想外の注目を浴びて、少し戸惑う日々でしたが、築120年の京町家の改修再生ができたことに大変満足しております。これから、「食育」を軸とした地域活動により、京町家再生・保全の広がり役立つことができればと思っています。



河崎邸 / 陶・点睛かわさき

■建物概要

所在地：東山区五条橋東五丁目

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約230㎡

建築年次：明治後期

用途：（改修前）店舗・倉庫→（改修後）店舗・アトリエ

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・室外機の修景
- ・ぱったり床几の新設



改修前



改修後

◆活用の概要

傷みが目立ちはじめた各部を補修するとともに、出来る限り本来の姿に戻すための改修をされました。改修工事には建築専門学校生徒さんたちも学習の一環で参加されました。明治期の建物を受け継ぎながら、気軽に清水焼に触れられるお店として再生されたことで、地域の景観を守るだけでなく、伝統産業を担う五条坂の賑わいの創出につながっています。

河崎さんからのコメント

曾祖父が建てた家を、今回専門家の方々の協力を得て、虫籠窓も含めて復元、建てられたころの家に出会えた様な気がします。工事中に当初の姿や変遷の跡、創建時に古い木材を再利用していたことなどを教えてもらいました。先人たちが手を加えながら大事にしてきたこの家を、私たちも次代に引き継いで、いつまでもお客様に喜んで頂けるお店であり続けたいと思っています。



左近邸

■建物概要

所在地：下京区仏光寺通高倉東入西前町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約230㎡

建築年次：大正5年

用途：（改修前）空き家→（改修後）貸店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

一旦、決まっていたマンション新築計画を白紙に戻し、京町家を改修して活用されることとなりました。材木商家を営んでいた大正5年に建築されたこの京町家は、随所にこだわりの銘木が使われています。現在、店舗として活用されており、デザイン関連の事務所とカフェが入居し、仏光寺界隈の町並みに溶け込んでいます。

左近さんからのコメント

改修はまず無理だろうと半ば諦めていましたが、助成を受けることが出来、おかげで考えていた以上の改修ができました。「ここ、綺麗になったなあ」通り行く人の声に思わずニンマリしてしまいます。



船鉾町会所

■建物概要

所在地：下京区新町通綾小路下る船鉾町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約170㎡

建築年次：明治初期

用途：（改修前）町会所→（改修後）町会所

改修工事の概要（助成対象工事）：

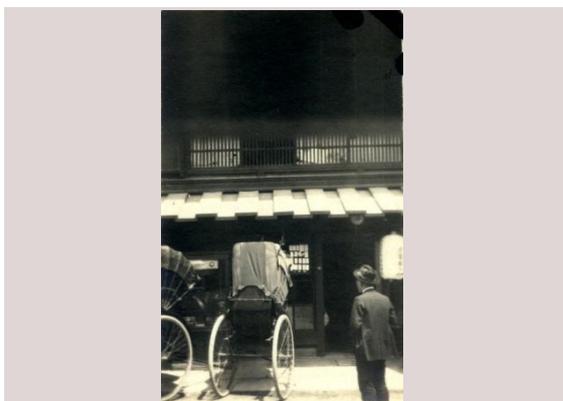
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・火袋の復元
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



古写真（大正初期ごろ）

◆活用の概要

船鉾町会所は、祇園祭船鉾の祭執行の基地として、祭の当日に多数の関係者、一般客が利用するのはもとより、平時から囃し方の練習等、地域の「町衆」に活用されている施設です。古写真をもとに復元され、当時の町衆の気概を現代に伝え、祇園祭の伝統を次代に引き継ぐ拠点となっています。祇園祭の期間以外は京絞りのギャラリーに貸されています。

（公財）祇園祭船鉾保存会からのコメント

平成19年7月3日祇園祭船鉾の吉符入りが執り行われ、私共保存会員及び関係者は、改修された町会所に集い、その年の祭の無事を祈りました。船鉾の祭神である神功皇后の御神面改めという何百年も続く伝統儀式を新装の町会所で務めることができ、大変感慨深い日となりました。



梶谷 邸

■建物概要

所在地 : 北区等持院南町

構造規模 : 長屋建て 延べ面積 : 約55㎡

建築年次 : 大正期

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 住居

改修工事の概要 (助成対象工事) :

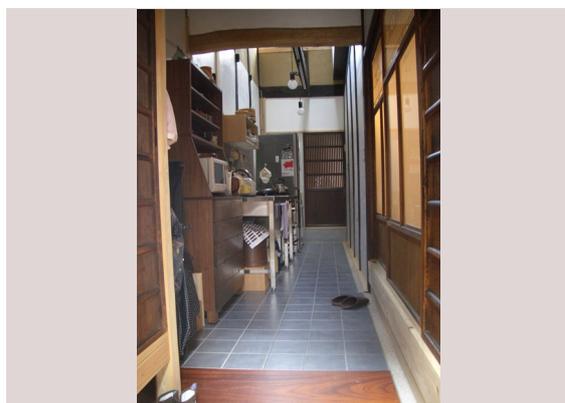
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・塀の改修



改修前



改修後



改修後 (内観)

◆活用の概要

等持院周辺の歴史的な景観を再生する改修事例の一つとして、また地蔵盆や近所の行事を通じて、子供たちの思い出の風景として、住み継がれていくように、大事にお住まいです。

梶谷さんからのコメント

祖父母の代から住み続けてきた京町家の隣を改修しました。娘にも京町家で味わえる季節感のある暮らし、京町家の美しさを大切にしてもらえたら嬉しいです。



スペースALS-D・光如庵

■建物概要

所在地：北区紫野南舟岡町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約70㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居・ダンススタジオ

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

西陣の織屋建ての京町家を、甲谷さんと舞踏家の由良部さんが借りて、筋萎縮性側索硬化症（ALS）の甲谷さんの生活の場として、また、由良部さんの芸術文化活動の拠点として活用されています。一階の表側は甲谷さんの生活の場、奥のダンススタジオは、イベントホールとしても使えるよう工夫されています。甲谷さんは24時間介護を受け、京町家での独居生活を実践されるとともに、由良部さんの表現の場に参加されるなど、「福祉と芸術の融合」を目指しておられます。

由良部さんからのコメント

先人の知恵がはぐくんだ、職住一体の京町家空間の特性や工夫を現在に活かし、最重度の身体障害者にとっての心地よい生活と、身体表現を中心とする芸術活動の場を一体とした公共性の高い空間づくりを目指しています。



谷口邸 / Café 箔屋

■建物概要

所在地：北区紫野西御所田町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約95㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居・店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

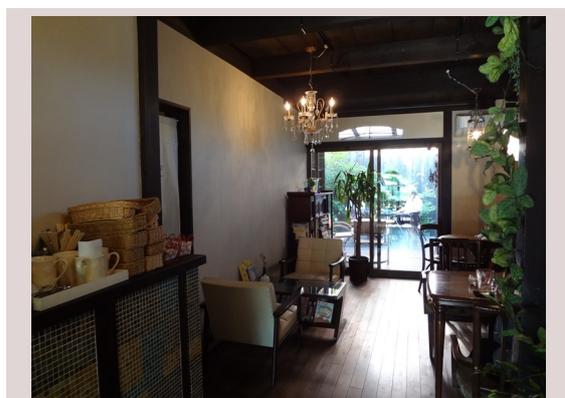
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

西陣織の箔屋を営んでいた看板建築の京町家を、住居兼店舗（カフェ）として再生されました。体にやさしい材料で作られたランチやデザートを楽しむながら空間を楽しんでもらうことで、京町家の良さ、先人の知恵や伝統を多くの人に体験してもらえる場所となっています。

谷口さんからのコメント

義父から受け継いだこの京町家を何とか活かす方法がないかと思い立ったことから、カフェの計画を思い立ちました。この京町家を通して、京町家そのものに留まらず、先人の知恵やその伝統を体感してもらえ、きっかけを作っていきたいと思っています。



(株)山中油店

■建物概要

所在地：上京区下立売通智恵光院西入下丸屋町

構造規模：厨子二階建て・長屋建て 延べ面積：約75㎡

建築年次：明治後期

用途：（改修前）空き家→（改修後）貸店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・内部一部の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

改修後は大学の京町家体験施設として活用されていましたが、現在は貸店舗として活用されており、写真スタジオが入居し、京町家の雰囲気を活かした運営をされています。また、長屋建ての隣家は、地域の歴史を伝える施設「上京歴史探訪館」として活用されています。

山中油店からのコメント

景観重要建造物に指定されている山中油店の店舗を中心に、周辺の京町家を改修して町全体として景観保全を進め、魅力的なまちづくりを行うことによって、この地域に新たな人の流れを生み出したいと考えています。



山本邸

■建物概要

所在地：上京区中立売通土屋町東入加賀屋町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約110㎡

建築年次：江戸後期

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



内観

◆活用の概要

住居としての京町家の再生事例として、オープンハウス等にご協力いただいています。地蔵盆にも活用され、地域に開かれた拠点として存在しています。また、次世代に住み継がれていくよう、丁寧にお住まいです。

山本さんからのコメント

生まれ育った家なので、暑いとか寒いとかは当たり前です。不便を感じたことはありません。この京町家を残したいのは、父の意志でもあって、できれば息子にも引き継いでほしいという思いから、きちんと改修を行いました。



小泉邸

■建物概要

所在地：中京区御池通大宮東入俵屋町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約140㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

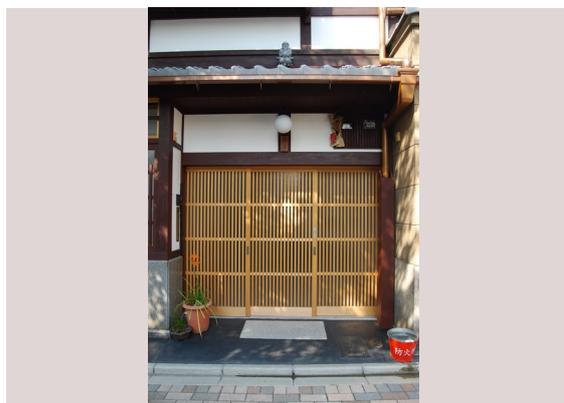
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（玄関部）

◆活用の概要

「麻」にこだわってお店を営む小泉さんはNPO法人四条京町家の代表で、これまでに、四軒の京町家を再生されてきました。五軒目のこの京町家は、小泉さんとご家族の住居として使われています。大幅に改変が加えられていた京町家を本来の伝統的な姿に戻したいとの思いで改修されました。ご高齢のお母様の車いすでの生活に配慮し、廊下の幅などに考慮されています。将来的には、一部を貸店舗として活用することも考えておられます。

小泉さんからのコメント

二条城に近く、都心部に比べてまだ多くの京町家が残ри、歴史や文化、伝統を感じられるこの地域の景観と伝統の継承に役立ちたい、そして、京町家と共に生きる生活文化を伝えたいと考えております。



小林 邸

■建物概要

所在地：中京区西洞院通姉小路上る三坊西洞院町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約375㎡

建築年次：明治期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居・貸店舗・借家

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

度重なる改修のため伝統的な意匠が失われていた京町家を再生し、2階は小林さんのお住まい、1階は日本茶販売店、奥の離れは借家として活用されています。

小林さんからのコメント

京呉服の仕事をしている関係から、呉服関係の店舗が多かったこの地域で、この京町家を活かして、京都の伝統産業の発展と人の流れを作り出したい、という思いから改修を行いました。この地域のさらなる活性化を願っています。



振本邸 / アリサ・ハウスミュージアム

■建物概要

所在地：中京区聚楽廻東町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約150㎡

建築年次：大正期

用途：（改修前）空き家→（改修後）貸しスペース

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・通り庭・火袋の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



内観：集いの様子

◆活用の概要

振本さんは、二軒長屋の北側をミュージアムとして活用されていましたが、今回は南側を、プロの職人さんたちの指導の下、仲間と共に土壁などの修復をされ、二軒を裏庭で繋いで、ひとつの文化交流拠点として再生されました。庶民の生活が息づく京町家を、京都の文化が体験できる場所として残していきたいという思いで、月に一度の「町家ほんまもの会」をはじめ、「ひな膳の会」や、当センター事業であるアーティストインレジデンスでのアーティスト受入れのご協力など、様々な活動をされています。

振本さんからのコメント

学生時代に訪れたアメリカで、古い民家を保存しながら博物館として公開するハウスミュージアムに感銘を受け、日本でも広げようと思ったのがこの改修のきっかけです。ここ京都で、人が集い活かされる国際交流の場づくりを続けていきたいと思っています。



八幡山町会所

■建物概要

所在地：中京区新町通三条下る三条町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約125㎡

建築年次：敷地奥側/明治後期、通り側/昭和初期

用途：（改修前）敷地奥側/町会所 通り側/住居・店舗

→（改修後）敷地奥側/町会所 通り側/住居・店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・門の改修



改修前



改修後



改修後（敷地奥側）

◆活用の概要

祇園祭の時は「八幡山」の拠点として賑わうのみならず、8月放生会、新年拝賀式など、町内の活動拠点としても活用されています。通り沿いの外壁も景観に配慮し、伝統的な意匠を復元されました。

八幡山保存会からのコメント

祇園祭山鉾町では、祭を中心として、町内のコミュニケーションが育まれています。この町会所は、祇園祭時には山のご神体、見送り、飾り物などの展示場所として、また、日常的に人々のコミュニケーションの場として、重要な空間となっています。



清水邸 / 五条坂・清水

■建物概要

所在地：東山区五条橋東五丁目

構造規模：本二階建て 延べ面積：約175㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）住居・店舗→（改修後）住居・店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

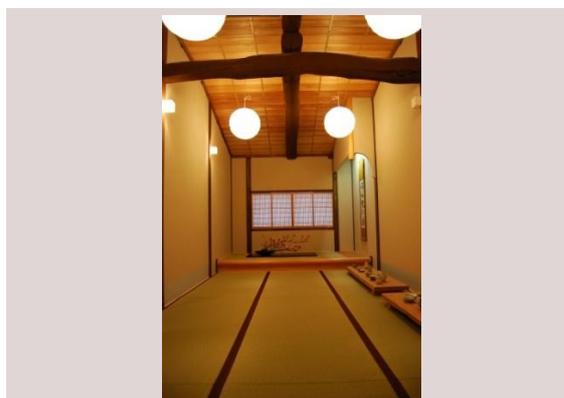
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観：ギャラリー）

◆活用の概要

清水さんは、親子三代の陶芸家です。「陶器のまち・五条坂にかつてのにぎわいを取り戻したい」との思いから、仕事場や店舗として使ってきた京町家を、もっと京都らしく、開かれた文化交流の場になるようお願い、改修されました。一階の店舗では、二代目・三代目の作品を展示販売、二階のギャラリーでは、初代の作品展示を行い、お客さんに気軽に親子三代の作品を見ていただける工夫がなされています。

清水さんからのコメント

夏に通り庭から吹き抜ける涼風や冬の底冷えなど、子供のころから長く住みなれると、それが当たり前と感じられ、暮らしにくいとは思いません。京町家は京都の資産、多くの京町家が残っていくように、まずは自分の家から守っていこうと考えています。



恵美須屋町 町家

■建物概要

所在地：下京区富小路通高辻下の恵美須屋町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約120㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）借家→（改修後）借家

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

株式会社庵（いおり）は、京都ならではの住まいと暮らしの体験ができる京町家ステイ（＝一棟貸しの借家事業）を展開して、かねてからこの京町家を事業に活用されていましたが、今回の改修で、一階の外観を伝統的な意匠に復元されました。この改修により、京都ならではの住まいと暮らしの体験が、更に充実することが期待されます。

株式会社庵からのコメント

京町家ファンを増やすことが、京都の伝統文化を継承していく大きな流れにつながっていくという思いで、この事業を展開しています。国内外からのゲストに滞在の場として利用してもらうことで、京町家の内部の魅力も堪能して頂けると考えています。



西澤邸 平成24年度歴史的風致形成建造物 指定

■建物概要

所在地 : 下京区西新屋敷中之町
構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約235㎡
建築年次 : 昭和初期
用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居
改修工事の概要 (助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修



改修前



改修後



改修後 (出格子)

◆活用の概要

西澤邸は花街島原に残る数少ない揚屋建築で、格子の繊細な意匠にその面影が残っています。住居として長く活用されていましたが、耐震改修と同時に、景観に配慮し、外壁側面の焼杉板貼改修を行いました。これからも大切に住み続けながら、次世代に引き継いでいきたいと考えておられます。

西澤さんからのコメント

改修を終え、本来あったこの京町家の美しさが引き出された様に感じます。細い棧にスリガラスから差し込む光、土壁と板塀のコントラスト、、、手仕事で尊重された時代の技の切磋琢磨から生まれた物が、新しい評価を受けて根づいていくことを願っています。



明倫学区通り景観の修景

■修景の概要

所在地：中京区六角通室町東入骨屋町

他14軒23台

修景工事の概要(助成対象部分)：

室外機カバーの修景

取組主体：明倫学区自治連合会まちづくり委員会



改修後



改修工事時

◆活用の概要

明倫学区まちづくり方針である「風格のある美しいまちなみづくり」を目標に、まちづくり委員会の呼びかけで、学区内の室外機23台にカバーが取り付けられました。間伐材を使い、建物との調和に配慮されたカバーが、この地域の通り景観の向上に貢献しています。

明倫学区自治連合会まちづくり委員会からのコメント

京都府建築工業組合の後継技能者育成研修会「葎塾」に所属する若手の大工さんによって、2日に渡り設置作業が行われました。室外機カバー設置は小さな配慮ですが、数軒が協力して行うことで、大きな効果があったと感じられた取組でした。



岡本邸

■建物概要

所在地：上京区中立売通大宮西入新元町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約140㎡

建築年次：明治期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

故郷の京都に帰省する度、町並み景観が失われていくことに心を痛めていた岡本さんは、ご実家の京町家を伝統的な意匠に改修されました。今回の改修では景観に配慮し、創建当時の姿にあわせて、糸屋格子の出格子と、側面外壁を焼杉板貼に還元されました。関東から京都に戻って来られ、ご自宅として活用されています。

岡本さんからのコメント

私たちの大切な遺産、先代から引き継いだ生家を改修し、今後は夫婦でしっかり手入れをして末長く暮らすことで、京都の町並みを守るために少しでも役に立てればと思っています。



貴島邸

■建物概要

所在地：上京区大宮通西裏今宮御旅所下る西若宮南半町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約175㎡

建築年次：大正末期～昭和初期

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外部建具・出格子・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

商家として建てられた京町家で、間口六間と広いことから、従来から通りを歩く人たちの目を引く外観でしたが、今回の改修で瓦の補修と木部の改修を終えられ、この地域の更なる良好な町並み景観保全に貢献されています。

貴島さんからのコメント

鞍馬口通に面しており、以前から近隣の方々の話題に上ることが多い京町家でした。季節ごとの催しや催事など、地域のコミュニティ活動拠点としての、活用をしていきたいと考えています。



才本邸

■建物概要

所在地：上京区千本通出水下東入十四軒町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約35㎡

建築年次：大正～昭和初期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住宅・地域交流の場

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・ぱったり床几の改修



改修前



改修後



改修後（H21子どもセミナーの様子）

◆活用の概要

お父様が地域交流の場として購入された京町家を、設備を含めて全体的に改修され、近隣の高齢者の憩いの場、地藏盆の会場など、町内住民の心のよりどころとなる交流の場として活用されています。また、循環可能な資源としての木材利用促進を目的に、森を育てる活動の拠点としても活用されており、この京町家の活動から、京町家保全の輪が広がっていくことが期待されます。

才本さんからのコメント

今回の改修により、近隣の京町家所有者にも改修を考えて貰うキッカケになったと思っています。また改修工事の過程では、NPO法人古材文化の会のメンバーなど京町家保全に取り組んでおられる多くの方と出会い、交流が生まれました。工事の記録等は、同会と協力し、京町家保全の資料として活用しています。



(株)たにぐち / 嘉楽本舗

■建物概要

所在地 : 上京区丸太町通黒門東入藁屋町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約320㎡

建築年次 : 昭和元年

用途 : (改修前) 住居・店舗 → (改修後) 住居・店舗

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修



改修前



改修後



改修後(詳細)

◆活用の概要

株式会社たにぐちは、丸太町通に面する貴重な大型の京町家で、平成20年に創業100年を迎え、府から「京の老舗」の表彰を受けられました。この記念の年を向かえたことを機に、創業者の想いに立ち返り、できるかぎり当時に近い形の外観に、内部は現在の使い勝手に考慮して、再生されました。

谷口さんからのコメント

丸太町通に建ち並ぶ近隣のマンションやビルにとり囲まれているため、改修後は一層、数少ない貴重な京町家の風情を残す建物となりました。百年前と変わらず菓子の製造・小売・卸問屋として商いを続けることで、今後も京都の景観を守っていきたいと思っています。



那 須 邸

■建物概要

所在地：上京区一条通浄福寺東入南新在家町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約245㎡

建築年次：大正末期～昭和初期

用途：（改修前）借家→（改修後）借家

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

那須さんは、外国からの研究者や学生のホストファミリーをされる中で、京町家の魅力を再認識され、建て替えではなく、改修を決意されました。西陣地区で借家として所有されていた三軒長屋を再生され、地域でもシンボリックな存在として注目されています。

那須さんからのコメント

当初は、取り壊してマンションにすることを計画していましたが「これ以上京町家が壊されたら」との危機感から、改修することになりました。京町家は外国人にも若い人にも人気があると聞いていますので、喜んで住んでいただければ何よりです。



今井邸

■建物概要

所在地：中京区油小路通三条下る三条油小路町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約160㎡

建築年次：明治期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

景観保全における京町家の重要性を再認識し、近隣の京町家保全の足がかりとするため、大切に保存されていた出格子を用いて京町家を再生されました。また、暖簾掛けを新設され、地域で実施されていた「のれんスタンプラリー」へ協力されていました。

今井さんからのコメント

曾祖父から受け継いだ京町家に住み続けることで、この家を守り、次代へと伝えていくことが、本来生活の場であった京町家の歴史を守ることに、つながることになると考えています。



のぶさんの家・健光園法人研修センター

■建物概要

所在地：中京区麩屋町通二条下る尾張町

構造規模：本二階建・長屋建て 延べ面積：100㎡

建築年次：大正期

用途：（改修前）空き家→（改修後）福祉施設（研修施設）

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後



改修後（一軒正面より）

◆活用の概要

三軒長屋を改修され、地域のシンボルとして、町並み景観の維持・向上に貢献しています。高齢化社会に不可欠なデイサービスに京町家を活用することは、地域への貢献度も高く、今後の京町家再生のモデルになるものと期待されます。現在は、職員の研修施設として利用されています。

健光園からのコメント

京町家の保存のためには、活用することが大切だと思います。現在は、職員の研修施設として活用していますが、京町家でしか出来ないサービスを福祉施設として提供することで、忘れられがちな地域のコミュニティを再構築できればと考えています。



北村邸

■建物概要

所在地：東山区三条通白川橋東七丁目東分木町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約155㎡(主屋)

建築年次：大正末期

用途：(改修前)住居・借家・宿泊施設

→(改修後)住居・借家・宿泊施設・貸しスペース

改修工事の概要(助成対象工事)：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

北村さんは、三条通に面して三軒の京町家を所有されており、主屋の出格子の復元等の改修に合わせて、他の二棟も、通り庇の改修や樋の取り換え等の修景をされました。間に一軒の現代住宅を扶むものの、隣家の京町家と併せて四軒の京町家が並ぶことで、三条通の景観保全に貢献しています。

北村さんからのコメント

三軒の町家のうち、以前に改修した二軒は旅館として活用しています。京町家の宿は観光客からの人気も高く、生け花のお稽古や講演会、お茶会にも活用しています。また、主屋では見学者を随時受入れており、京町家についての関心を深めてもらえるよう努めています。



福井邸

■建物概要

所在地：東山区松原通大和大路東入二丁目轆轤町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約110㎡

建築年次：江戸後期～明治初期

用途：（改修前）店舗→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後



改修後（正面より）

◆活用の概要

宇治茶の小売店を廃業されるのを機に、耐震改修を行い、柔構造の伝統的な京町家に復元されました。地域全体として高齢化と建物の老朽化が進む中、街中の住居として使用し続けることで仕舞屋造の京町家の良好な再生事例となっています。観光客の往来の多い松原通に面した六波羅の地にあり、外観の意匠は町並み景観保全に一役買っています。

福井さんからのコメント

この京町家の改修を通じて、市内に多く残る看板建築も、少し手を入れれば、京町家として立派に生き返るという再生事例になればと考えました。同様の京町家が1軒でも多く、保全・再生されることを願っています。



角川邸

■建物概要

所在地：上京区元誓願寺通千本西入松屋町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約130㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

以前の所有者が、外観や内部を大きく変更されていた空き家を購入されました。これを改修して住居として活用されていましたが、今回の改修で、伝統的な意匠に再生されました。ミセノマを多目的に活用するため、平格子は取り外しができるようになっており、大学のゼミの会場や、地藏盆など地域の子供が集う空間としても活用されています。

角川さんからのコメント

京都は、伝統的な町並みだけでなく、四季折々の行事や、ご近所とのお付き合いなど、日常の中に伝統的な暮らしが残っている数少ない都市だと思います。そんな暮らしを実現するための必須空間が京町家なのではないか、京町家は他の建物では代用できない重要な存在だと考えています。



木村 邸

■建物概要

- 所在地 : 上京区日暮通下立売上る天秤町
構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約110㎡
建築年次 : 大正期
用途 : (改修前) 借家 → (改修後) 借家
改修工事の概要 (助成対象工事) :
- ・屋根の改修
 - ・外壁の改修
 - ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後



改修後 (一階正面)

◆活用の概要

借家として建てられ、空き家状態だった町家を改修されました。借家町家の活用は、地域のまちづくりを主体的に考えてくれる住み手の定着が不可欠と考え、多目的な用途に対応した職住一体型の京町家に再生されました。現在、借家として、京町家体験型ドミトリーとして活用されています。

木村さんからのコメント

借家で空き家状態になっている町家は、壊されてしまうリスクが最も高いのが実情です。この借家町家が活用されることで、歴史あるこの地域の活性化に繋がればと思っています。



宮 寄 邸

■建物概要

所在地 : 上京区智恵光院通丸太町下る主税町
構造規模 : 本二階建・長屋建て 延べ面積 : 約90㎡
建築年次 : 昭和5年頃
用途 : (改修前)住居→(改修後)住居
改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

もともとお住まいになられていた京町家に三世代が住むことを機に、隣家を購入・改修されました。外観を隣家と同様の意匠に合わせることで、町並み景観の向上が図られています。また、二世帯が隣り合う京町家に暮らすことで、都心部における二世帯居住のモデル事例となることが期待されます。

宮寄さんからのコメント

今どきの生活様式も取り入れながら、隣り合う二軒の京町家での二世帯居住を楽しんでいます。また、ホストファミリーとして外国からの留学生を受け入れることで、京町家の貴重さや暮らし方の工夫などを海外からの学生に紹介することができています。



こきでん (株)山中油店 / 弘徽殿の南邸

■建物概要

所在地：上京区新出水通浄福寺西入東神明町

構造規模：厨子二階建て・長屋建て 延べ面積：約80㎡

建築年次：明治後期

用途：（改修前）住居→（改修後）ゲストハウス

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

学生向けシェアハウスとして改修され、現在は京町家ゲストハウスとして活用されています。ガレージになっていた一階部分は、伝統的な意匠の外観に復元され、町並み景観の向上に繋がっています。

山中油店からのコメント

京町家ゲストハウスは旅館業法への適応が難しいですが、京町家再生の収益事業化事例として、他の京町家保存の動機付けになるよう努力しています。



田中邸

■建物概要

所在地：中京区西ノ京左馬寮町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約60㎡

建築年次：大正末期

用途：（改修前）空き家→（改修後）教室・貸しスペース

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

ご友人が相続した京町家の利活用について相談を受けた竹島さんご自身が借り上げて地域の人々に喜んでもらえる京町家として再生されました。二階に設けられた貸しスペースでは、地域住民のニーズに合わせた各種教室が開催されており、地域の子供やご高齢の方々の集いの場になっています。

竹島さんからのコメント

一階を京野菜を中心としたおばんざいの販売、二階を地域の方が交流できる貸しスペースとして、地域みんなの京町家として活用してきましたが、現在は、一階をパン教室にお貸ししています。二階は引き続き各種教室にお貸しして、地域の方々に利用して頂いております。



岸本邸

■建物概要

所在地：下京区新町通綾小路下る船鉾町

構造規模：厨子二階建て・長屋建て 延べ面積：約150㎡

建築年次：大正末期～昭和初期

用途：（改修前）住居・借家・空き家→（改修後）借家・店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

路地奥にある三軒長屋の京町家を購入され、そのうちの一軒をすでに改修して住居として活用されていましたが、今回の改修で残りの二軒を伝統的な意匠の外観に復元されました。これで三軒すべての改修を終え、路地空間の良好な景観が甦りました。現在、岸本さんは移転され、京町家を大切に思う方々に賃貸をされています。

岸本さんからのコメント

自分自身が京町家で育った経験から、もう一度京町家に住みたいという思いが募り、購入を決意しました。この地域は船鉾が建つ由緒ある町内であり、景観保全の意味からも、今後末永く貢献できればと思っています。



藤田邸

■建物概要

所在地：下京区若宮通花屋町下る四本松町

構造規模：厨子二階建て・長屋建て 延べ面積：約170㎡

建築年次：不明

用途：（改修前）住居・空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・木製駒寄せの新設



改修前



改修後



改修後（玄関周辺）

◆活用の概要

所有されていたの二軒の連棟を改修され、ご兄妹がそれぞれ、セカンドハウス、お住まいとして活用されています。玄関脇には藪戸と揚げ見世を残す伝統的な京町家で、間口の広い外観は、東西両本願寺に挟まれた歴史的な地域において、良好な町並み景観に貢献しています。

藤田さんからのコメント

イギリスに滞在中、至るところに古い町並みや民家が残り、今もなお利用されていることを知りました。京都にも都として蓄積された歴史があり、保存すべき町並み、京町家が残っているものの、次第に失われている現状を見て、ぜひ我が家を守りたいと思い、再生しました。



石原邸

■建物概要

所在地：右京区嵯峨二尊院門前北中院町

構造規模：厨子二階建て・長屋建て 延べ面積：約125㎡

建築年次：大正末期～昭和初期

用途：（改修前）借家→（改修後）借家

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

ご先祖から受け継いだ京町家を、末長く将来的にも京町家として活かして下さる方に入居して頂くため、二軒長屋を一軒の住宅として改修されました。改修にあたっては、建物の図面を保管されていたため、その図面をもとに米屋格子を復元されました。間取りも、住居のほかにアトリエ、事務所、店舗にも対応できる工夫をされています。

石原さんからのコメント

伝統工芸に携わる方に末長くお住まい頂くことで、京町家を大切に維持出来ることを願っています。また、風致地区にあるこの京町家の改修が、面的な町並み景観の保全に繋がればと思っています。



大野 邸

■建物概要

所在地：北区紫野東藤ノ森町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約55㎡

建築年次：昭和4年頃

用途：（改修前）住居・店舗→（改修後）住居・店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

この京町家を借りて蕨餅店「茶洛」を営んでいた関川さんが、モルタル塗りの外観から、京町家の風情を取り戻すために改修をされました。この界限には、まだ数多くの京町家が残っているため、町並み景観の面的な向上が期待されます。（H24.08「茶洛」店舗移転により、現在は別の店舗が入居されていますが、引き続きこの外観を維持されています。）

大野さんからのコメント

この京町家の他にも何軒かの京町家を所有し、店舗等に貸していますが、入居者の方々には京町家の風情を活かした使い方をして頂くようお願いしています。また、今後もこの京町家を大切に維持していきたいと考えています。



栗本邸

■建物概要

所在地：上京区寺之内通千本西入下る柏清盛町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約130㎡

建築年次：昭和2年

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

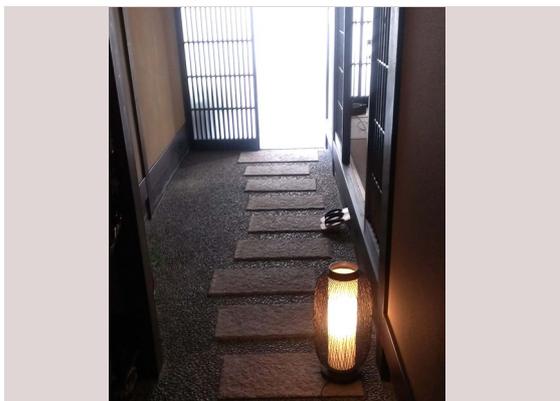
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（トオリニワ）

◆活用の概要

80年余りに建てられた西陣織を家業とする織屋建ての京町家を改修されました。織屋建ての特徴を生かし、吹抜けの作業場であった奥をリビングとし、現代的な住まい方に対応されています。

地蔵盆を始めとする祭事には町内の人々が集う拠点としても活用されており、地域の人々の憩いの場となっています。

栗本さんからのコメント

子供達が里帰りする家がいつまでも残っていくことを願って改修しました。町内には町稲荷もあり、幾年も続いているお火焚や新年会、地蔵盆など、この京町家と共に地域の文化を守り続けていきたいと考えています。



櫻井邸 / 阿古や

■建物概要

所在地 : 上京区松屋町通中立売下る神明町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約130㎡

建築年次 : 昭和9年

用途 : (改修前) 住居・店舗 → (改修後) 住居・店舗

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後



改修後(別アングル)

◆活用の概要

櫻井さんは、京町家が多く残る上京区聚楽学区で、京料理の仕出し屋を営まれています。将来にわたり末長く子孫に家業を継承し、この京町家を守っていくために再生されました。地域の各種団体の会合にも活用されており、地域の方の目に触れる機会が多いこの京町家を通して、保全・再生の輪が広がっていくことが期待されます。

櫻井さんからのコメント

今回の改修で、息子や孫達にも家を守り代々受け継ぐということの大切さ、また、京料理を守ることは先代が建てたこの京町家を守ること、料理の世界も建築の世界も伝統の継承の重要性は変わらないことを伝えたいと思います。



下村邸

■建物概要

所在地：上京区今小路通七本松西入末之口町

構造規模：本二階建 延べ面積：約230㎡

建築年次：明治32年

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・木製駒寄せの復元
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（遠景）

◆活用の概要

織物関係の商家として、職住一体の伝統的な京町家として建てられた奥様のご実家を再生し、大阪から移り住まわれました。京町家が減少しつつあるこの地域において、町並み景観保全面で大きな役割を果たし、更に、ピアノコンサートを始め、様々な行事への活用により、地域コミュニティへ貢献されています。

下村さんからのコメント

住居として末永くこの京町家を守っていくとともに、今回の改修をきっかけに、地蔵盆での会場の提供や京町家コンサート、各種展示会など、地域に根ざした活用を考えています。



土肥邸

■建物概要

所在地：上京区笹屋町通千本東入笹屋町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約130㎡

建築年次：明治期

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後

◆活用の概要

かつて西陣の京町家にお住まいだった時に、多くの京町家が壊されて消えていく現状を目のあたりにされたことや、神戸ご出身で地震により町並みが失われてしまった経験から、織屋建ての京町家を購入し、耐震にも配慮しながら再生されました。今後はギャラリーとしても活用されたいと考えておられます。

土肥さんからのコメント

京町家の改修は思ったよりはるかに時間もお金もかかるため、大工さんとのコミュニケーションがとても大事だと感じました。一度壊してしまった京町家は、二度と建てることが出来ません。世界に誇れる京町家が一軒でも多く後世に残されることを願っています。



松居邸（旧杉尾家）

平成23年度 景観重要建造物・
歴史的風致形成建造物 指定

■建物概要

所在地：上京区上立売通小川東入挽木町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約250㎡

建築年次：昭和2年

用途：（改修前）住居・借家→（改修後）住居・借家

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後

◆活用の概要

表屋造の西陣織の商家として建てられた京町家を、末永く守っていくため、景観重要建造物の指定を目指して改修されました。主屋を若い方や海外から京都を訪れる方の京町家生活の体験の場として活用されており、これを通じて、京町家の良さを広めています。

松居さんからのコメント

ご先祖様から受け継いだこの家が気に入って住んでいます。国内外からのゲストが泊まりに来てくれることが楽しみになっており、改修後も多くの方が訪ねて来てもらえることを望んでいます。



丸山邸

■建物概要

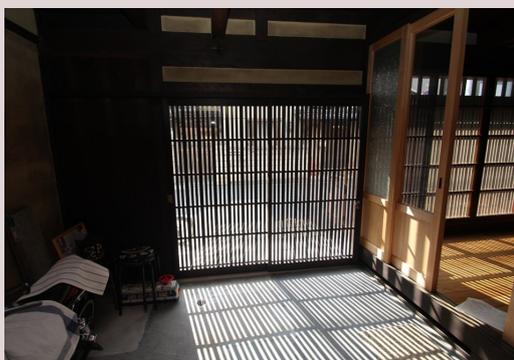
- 所在地 : 上京区中町通丸太町上る俵屋町
構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約115㎡
建築年次 : 大正末期
用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居
改修工事の概要 (助成対象工事) :
- ・屋根の改修
 - ・外壁の改修
 - ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後 (内観)

◆活用の概要

一階を店舗、二階を生活空間として利用することを前提に改修されました。一階は人が集まる居心地のよいカフェとしてのオープンを視野に入れ、玄関からトオリニワの部分を広く開放感ある空間にしておられます。間取りを変えず、柱は抜かずに、京町家の空間の質を大切にしながら改修されました。

丸山さんからのコメント

大工さん、設計士さんの「直ります」のひと言で購入を決意し、相談しながら改修を進められたことが大収穫でした。足場が外れたときは「買ってよかったね」と周囲から言ってもらえました。子育てをしながら、京町家生活を楽しんでいます。



小野邸

■建物概要

所在地：左京区下鴨宮崎町

構造規模：木造二階建て 延べ面積：約125㎡

建築年次：大正4年

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・塀の改修



改修前



改修後



改修後（塀部分）

◆活用の概要

小野さんは京町家の再生を多く手掛ける工務店にお勤めで、いつか伝統軸組工法の木造住宅をご自身の住居として再生するという夢を叶え、下鴨神社に近い閑静な住宅地に佇むこの建物と巡り合い、再生されました。この地域の良い町並み景観保全に貢献されています。

小野さんからのコメント

夢を実現するために物件を探し始めて3年、建てられた当初の状態で空き家になっていたこの建物の紹介を受けたその日に購入を決意しました。京都に生まれ育った者として、この建物を大切に受け継ぎ、次世代に伝えたいと思っています。



三原邸

■建物概要

- 所在地 : 中京区岩上通蛸薬師下る宮本町
構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約280㎡
建築年次 : 明治期
用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居
改修工事の概要 (助成対象工事) :
- ・屋根の改修
 - ・外壁の改修
 - ・外部建具・出格子・平格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

ご両親から受け継がれたこの京町家を守っていくことがご自身が後世に残すことの出来る大切なことだと考えて、今回の改修をされました。京町家の前にはお地蔵さんもあり、地蔵盆など地域での活用も期待されます。

三原さんからのコメント

ご近所付き合いが少なくなったこの時代でも、この界限にはまだそんな習慣が残っています。京町家の外観だけでなく、地蔵盆や地域の集まりなど、京町家が育む人のつながりも大切に残していきたいと思っています。



宮川邸 / ギャラリーみやがわ

■建物概要

所在地：中京区四条通新町西入上る炭之座町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約205㎡

建築年次：明治10年頃

用途：（改修前）住居→（改修後）住居・ギャラリー

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

ご自身のご実家に移ってこられるのを機に、内部の改修だけでなく、祇園祭の中心的な場所に位置するこの建物の、京町家らしさを取り戻すために外観の改修をされました。

宮川さんからのコメント

祇園祭の屏風祭の風情を残していきたいという想いで、新築ではなく、この京町家を再生して住みつづけることを決意しました。屏風や生け花などのしつらえで祭を盛り上げ、京町家の良さをアピールしていきたいと思っています。



NPO法人無門社協働ホーム浅川亭

■建物概要

所在地：東山区一橋宮ノ内町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約170㎡

建築年次：大正10年頃

用途：（改修前）空き家→（改修後）配食センター・地域交流スペース

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

NPO法人無門社が、空き家だった京町家を借りて、知的障害者の就労支援の場となる配食センターとして再生されました。また、現在は、高齢者の会食や地域の交流サロンとしても活用され、今後も地域ネットワークとNPOが協働で地域を盛りたてる場として活かされていくことが期待されます。

NPO法人無門社からのコメント

住まいの面影を残しつつ地域に役立つ活用ができないか、という所有者からの要望を受けて、景観に配慮した改修を行いました。配食センターとして使用している時間外も、独居高齢者の方々の会食サロンや朝粥会などに活用して、地域に親しまれる京町家を目指しています。



グランピエール 邸

■建物概要

所在地 : 下京区

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約120㎡

建築年次 : 大正7年頃

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 住居

改修工事の概要 (助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後 (内観)

◆活用の概要

以前店舗として使われていた、看板建築の空き家を再生されました。平格子と通り庇を復元され、鴨川に面した良好な町並み景観保全に貢献されています。京町家に興味のある人々に、オープンな出会いの場を提供されることで、この地域において更に大きな役割を果たすことが期待されています。

グランピエールさんからのコメント

母国フランスでは建築遺産の保全は国民の義務と認識されています。ふりかえると大変なこともあったけれど、「こんな家に暮らしたい!」という気持ちをあきらめることなく、イメージ通りの住まいを完成させることができました。



京ノ空

■建物概要

所在地：南区八条内田町

構造規模：平屋建て・長屋建て 延べ面積：約35㎡

建築年次：大正期

用途：（改修前）空き家→（改修後）アトリエ・ギャラリー

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

建築士である太田さんが、京町家が減少していく現状に危機感を持ち、この京町家を借りて再生されました。東寺に近く、歴史と伝統的な人々の暮らしの営みが色濃く残る地域で、「京の空（きょうのくう）」と名付けられた京町家での取組が、少しずつ周辺の京町家の保全へと、面的な広がりにつながっていくことが期待されます。

太田さんからのコメント

自ら改修工事を手掛けてみて、改めて京町家の凄さを後世に伝えていくことの大切さを感じています。暮らしを彩るアイテムを扱うギャラリー兼アトリエとして、この京町家が地域の方々に馴染んでもらえることを願っています。



新居邸

■建物概要

所在地：伏見区淀新町

構造規模：洋館付き木造二階建て 延べ面積：約260㎡

建築年次：大正末期～昭和初期（洋館・離れ：不明）

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修



改修前



改修後



改修後（別アングル）

◆活用の概要

かつて淀城を中心に栄えた城下町に残る和洋折衷住宅で、大正末期から昭和初期に置屋の主人の別宅として建てられ、その後、洋館が増築されたと聞いています。

今回、昭和20年に撮影された写真を元に、大切に保存されていたステンドグラスを活用して、復元されました。住居としての活用に加えて、一部は地域にも開放されています。

新居さんからのコメント

外観を復元することで、手の込んだ造りの内部空間がより一層活かされ、建物全体が生き返りました。庭を囲んだゆったりした落ち着いた雰囲気的空間を活かして各種会合や教室に、また、洋の空間は喫茶スペースとして、より多くの人に楽しんでもらいたいと考えています。



尾崎邸

■建物概要

所在地：伏見区深草大亀谷東久宝寺町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約280㎡（主屋）

建築年次：昭和3年

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

傷んでいた屋根の葺き替えと虫籠窓や出格子、土壁の改修により、もとの外観がよみがえりました。広い土間やお座敷はもとのかたち大切にされており、お座敷では和裁の教室をされたり、お祭り時は格子戸をはずしてお飾りをされたりと、様々な人が集まる場として活用されています。

尾崎さんからのコメント

この深草の旧街道沿いには旧家が立ち並び、歴史的な景観が残る地域です。築80年の我が家は、屋根など外観の傷みが気になっていました。そのような時に息子から「今のままの姿を残してリフォームしたい」という嬉しい言葉を聞き、改修を決意しました。



生駒邸

■建物概要

所在地：上京区大宮通寺ノ内下る西入新美濃部町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約165㎡

建築年次：明治35年頃

用途：（改修前）住居・事務所→（改修後）住居・事務所

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

奥に吹き抜けの作業空間を有する織屋建ての京町家で、明治後期に西陣織り工場兼住宅として建築されたと伝わっています。織屋の風情と街並み景観を考慮し、特に劣化や蟻害がひどかった表部分を、意匠を損なうことなく改修されました。現在は住居兼事務所として活用されていますが、将来的には西陣織の見学施設としての活用もお考えです。

生駒さんからのコメント

京町家は景観だけでなく、実際に人が住まい、商いをしたりして使い続けていくことで、京町家がより生き生きとするのではないかと思います。



五辻庵

■建物概要

所在地：上京区五辻通智恵光院西入五辻町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約190㎡

建築年次：昭和元年

用途：（改修前）住居・店舗→（改修後）宿泊施設

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

水口さんのお母様の御実家である杉原邸を、一時的に維持管理することを目的に、宿泊施設として再生されました。西陣織の商家として建築されたこの京町家は、変則的な表屋造で奥行きが深く、庭も含め再生されています。本物の京町家で、京都の暮らしを体感してもらえる施設として活用されています。

水口さんからのコメント

杉原家が三代にわたって住み続けてきた京町家を、宿泊施設として活用しながら、将来的には四代目である従兄弟に引き継ぎたいと考えています。



井上邸 / エステイト信

■建物概要

所在地 : 上京区葎屋町通樫木町下る直家町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約105㎡

建築年次 : 昭和初期

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 住居・事務所

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後(一階外観)

◆活用の概要

看板建築となっていた京町家を、伝統的な意匠に改修されました。「職住一体」の暮らしの場として活用され、一階部分は京町家専門の不動産業と京都の生活文化の継承を進めるNPO法人の事務所として活用されています。二階は建具を外せば19畳の大広間となり、会議、ワークショップ会場、夏休みには地域の子供達にも開放され、活用されています。

井上さんからのコメント

「京都が京都で在り続けるために」、ファンドの存在を広め、京都の町並み、文化に貢献する意義を多くの方に感じていただきたいと思います。私自身も子供にとっても京町家での生活体験が、将来にわたり京町家を維持する力の根源になると考えています。



寺島邸

■建物概要

所在地：上京区五辻通浄福寺東入西北小路町

構造規模：本二階建て・長屋建て 延べ面積：約90㎡

建築年次：明治30年

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居・茶事スペース

改修工事の概要（助成対象工事）：

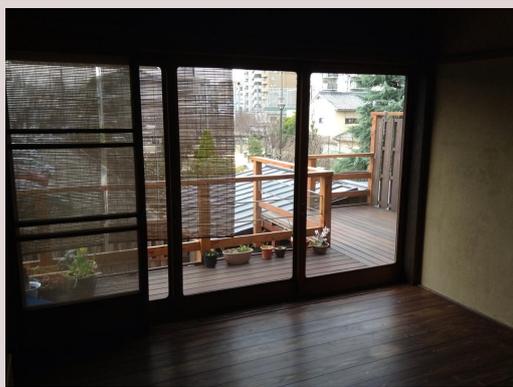
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（2階から公園を望む）

◆活用の概要

この京町家は、西陣織の本金糸を製造する職人達の社宅兼仕事場として明治に建てられた、路地奥長屋の一軒です。ご購入後に、自ら建具を集められたりと、色々な工夫を凝らし、楽しみながら改修工事を終えられました。一階に設けられた茶室は、「蓮庵（れんなん）」と名付けられ、外国人のご友人をお招きされたりしています。路地に面する外観、公園に面する裏の外観も配慮して改修されました。

寺島さんからのコメント

かつての京町衆が、生活の一部として楽しんでいたという「茶」。形式張る事なく、友を迎え共に楽しむ、ゆったりとした時空。そんな空間が、百年を超えた歴史を持ち、タイムスリップしたかのような静かな路地奥の京町家に蘇れば、と願っております。



横田邸

■建物概要

所在地：京都市左京区下鴨西半木町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約145㎡

建築年次：昭和初期

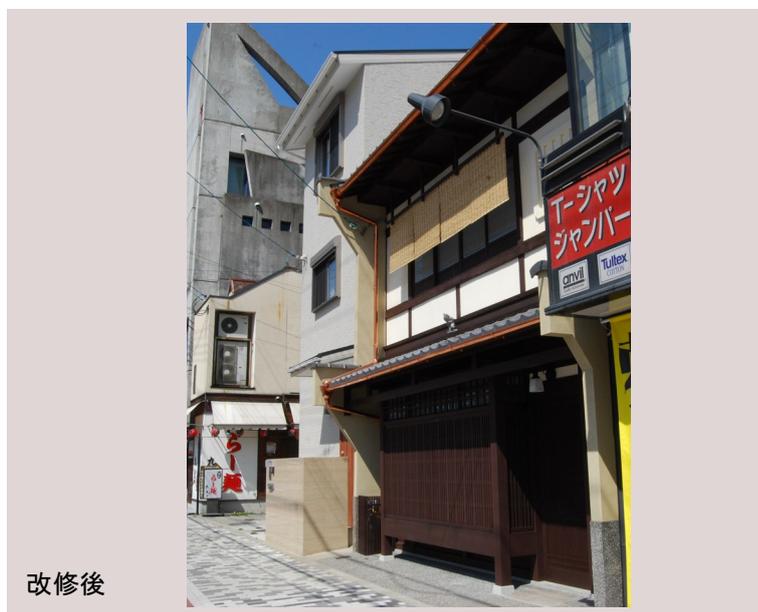
用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後

◆活用の概要

御両親がお住まいになり、大幅に改変されていた京町家を伝統的な意匠に再生されました。他府県や外国のご友人を招いて、京町家の良さを知ってもらおうと考えておられます。また、今後ご自身から更にご家族へと住み繋いで、この京町家にそれぞれの世代の新しい息吹が吹き込まれていくことが期待されます。

横田さんからのコメント

祖父から代々受け継がれ守ってきた京町家を、次の世代に渡すために再生しました。現在、関東に暮らしていますが、いずれ京都に戻りこの京町家に住む予定です。



生川 邸

■建物概要

所在地：中京区橋柳町

建物規模：本二階建て・長屋建て 延床面積：約70㎡

建築年次：昭和7年

用途：（改修前）空き家→（改修後）借家・事務所

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

以前は店舗として使用され、看板建築となっていた京町家を再生することで、既に改修されている隣家との連続性が生まれ、良好な景観に寄与しています。また、生川さんの京町家に対する思いから、改修後は京町家の保全・再生の活動拠点として利用される予定であり、京町家の保全・再生に貢献する様々な活動の結節点となることが期待されます。

生川さんからのコメント

京町家の保全・再生に係るなかで、それを訴えるだけでなく、自ら行動することが重要であると一念発起し、京町家を取得し、再生させることとしました。京町家の景観を再生するとともに次世代へと受け継いでもらえるよう適切に管理していきたいと考えています。



吉村邸 / ウサギノネドコ

■建物概要

所在地 : 中京区西ノ京南原町

構造規模 : 本二階建て・長屋建て 延べ面積 : 約90㎡

建築年次 : 昭和初期

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 宿泊施設・店舗・ギャラリー

改修工事の概要(助成対象工事) :

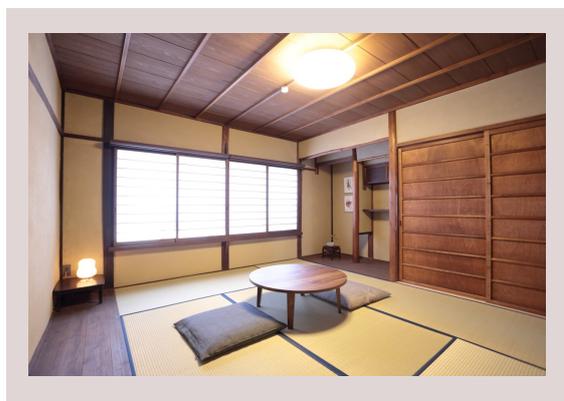
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修
- ・メーターの修景



改修前



改修後



改修後(内観)

◆活用の概要

宮大工だった御先祖から受け継いだこの京町家は、現代の大工さん、職人さんの手によって改修されました。誰もが気軽に体感できる「オープンな京町家」を「ウサギノネドコ」と名付け、宿泊施設、京文化を体験できるワークショップスペース、セレクトショップなど、多様な空間として活用されています。

吉村さんからのコメント

京町家を次の世代に繋いでいくという活動は本当に意義のあることだと思います。より多くの人に、京町家の素晴らしさを「見て、触って、体感してもらう」ことが大切だと実感し、私自身も保全活動を担う一員になりたいと考えています。



伊藤邸

■建物概要

所在地：南区四ツ塚町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約220㎡

建築年次：昭和6年頃

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・格子の改修
- ・室外機・メーターの修景



改修前



改修後



改修後（雛人形展の様子）

◆活用の概要

昭和初期に葉茶屋の商家として建築され、1階部分が看板建築として改変されていた京町家を、伝統的な意匠に復元されました。建物は、間口が広く、大黒柱や格天井と箴欄間の本玄関を持つ格調高い作りです。奥庭も趣きのある古い石灯籠と手水鉢や、鞍馬石の大きな沓脱石など見応えがあります。住まいとしての活用だけでなく、江戸期の雛人形展をはじめ、定期的な見学会を実施されています。

伊藤さんからのコメント

京町家の改修費用について、特に個人が住宅として改修するには、想像以上に高額であることに、ある意味ショックを受けたのも事実です。このファンドの助成金は、心強いものとなりました。次世代に継承するための維持管理を今後もしていきたいと思っております。



長谷川家住宅 / 歴史・文化・交流の家

平成24年度
国登録有形文化財（答申済）

■建物概要

所在地：南区東九条東札ノ辻町

構造規模：厨子二階建て（門・表蔵付き） 延べ面積：約400㎡

建築年次：江戸中期

用途：（改修前）住居→（改修後）住居・ギャラリー・手織り教室

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・門・表蔵の改修



改修前



改修後



改修後（門）

◆活用の概要

郊外に建つ京町家型の農家住宅で、50年程前に現代風に内装変更された部分を、土間のおくどさんも含め、明治27年の図面を基に復元されました。住まいとしての活用の他、手織り教室の開催、昔の資料の公開の場として活用され、地域に開かれた空間となっています。

ご実家である長谷川家の所有者 中川さんからのコメント

「数百年続いた家の歴史・文化を次代につなぐべき」との恩師の教えに従い、夫の協力を得て、築造当時の姿に復元することができました。歴史的な建物が次々と消えて行く中、日本の古い優れた文化を残し、継承していきたいと考えています。



田中邸 平成23年度景観重要建造物 指定

■建物概要

所在地：右京区嵯峨伊勢ノ上町

構造規模：高塀造り 延べ面積：約130㎡

建築年次：昭和10年頃

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具の改修



改修前



改修後



改修後（周辺の様子）

◆活用の概要

今回の改修の3年前に購入・改修されましたが、景観重要建造物への指定を目指し、傷んでいた塀や二階建具の改修、土壁の塗り替え等をされました。

田中さんからのコメント

子供の教育には、京町家での生活が大切だと確信し、この京町家を購入・再生しました。今回、末永く維持管理できるよう、景観重要建造物の指定を受けました。



先斗町 通り景観の修景

■修景の概要

所在地：中京区先斗町通三条下る六角西側材木町

他11軒17台

修景工事の概要(助成対象部分)：

室外機カバーの修景

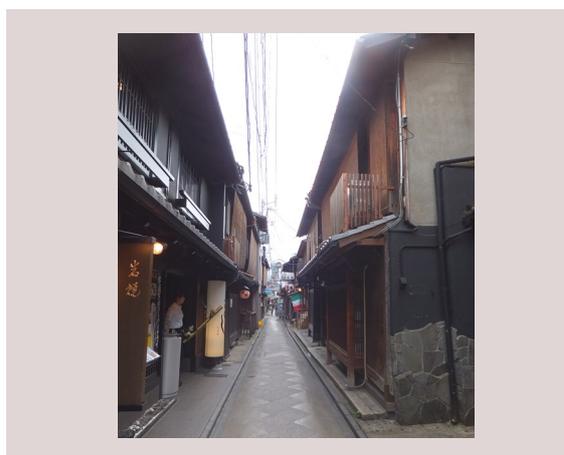
取組主体：先斗町まちづくり協議会



改修前



改修後



改修後(通りの様子)

◆概要

先斗町通を中心とする界限は、京都の花街の一つであり、300年以上にわたり繁華街として繁栄を続けてきた地域です。しかし、時代の流れとともに、花街先斗町の風情、昔からの先斗町の美しい景観は失われつつありました。今回、複数軒の建物の所有者が共同で、室外機に木製カバーを設置されました。先斗町まちづくり協議会では、地域一体となった景観・まちづくりの取組が実施されています。

先斗町まちづくり協議会からのコメント

今回のエアコン室外機カバー設置による修景を1つの契機にし、“先斗町らしさ”を後世に受け継いでいく取組を進めていきたいと考えています。花街としての本来の美しい町並みを守り、更に、今後も良い様にまちの様子が作られることを目指して活動してまいります。



北岡邸 平成24年度 景観重要建造物・歴史的風致形成建造物 指定

■建物概要

- 所在地 : 上京区榎木町通油小路西入西山崎町
構造規模 : 厨子二階建て 延べ面積 : 約150㎡
建築年次 : 明治20年頃
用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 住居
改修工事の概要 (助成対象工事) :
・屋根の改修



改修前



改修後



改修後 (別アングル)

◆活用の概要

文化財建造物や庭園修理の設計に携わり、京町家についての高い見識をお持ちの北岡さんは、その保全・再生への思いから、築100年を超える京町家を住居として購入、改修されました。改修工事の際は、現場の見学会開催や、学生の研修受け入れ、詳細な工事記録の保存など、伝統技術の継承に貢献されました。

北岡さんからのコメント

豆腐屋や仕出し屋の通り庇が軒を伸ばす榎木町通りの風情が好きでした。そんな中この家に出会いました。通りには厨子二階の町屋は数少なく、次の世代に継承し住み続けることで京都に恩返ししたいと思います。



長岡邸

■建物概要

所在地：上京区中立売通千本東入田丸町

構造規模：本二階建て 延べ面積：125㎡

建築年次：不明

用途：（改修前）住居・店舗→（改修後）住居・店舗

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



古写真

◆活用の概要

西陣の町に祖父の代から続くつづれ織の伝統と、この京町家を大切に守ってこられていました。今回の改修では、モルタル壁の裏に残されていた虫籠窓と土壁を復元されました。以前から、雛人形や五月人形、屏風等を季節ごとに展示され、地域の方々やお知り合いに公開されています。現在はご子息が引き継がれています。

長岡さんからのコメント

長く住み続けてきた愛着のある京町家を、今後も住居として末永く維持していきたいと思っています。



山内邸 / 喫茶 sans-souci

■建物概要

所在地 : 上京区今小路通七本松西入末之口町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約185㎡

建築年次 : 大正2年

用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居・店舗

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



改修後(内観)

◆活用の概要

山内さんは、ミセノマを改修し、喫茶店をオープンされるとともに、外観を伝統的な意匠に復元されました。これまで座敷や庭は良好に維持管理されてきましたが、今後はお座敷をイベントスペースとして地域に開放される予定です。喫茶店部分は気軽に京町家の内部を見学できる場となり、近隣のファンド助成物件と連携した面的な京町家の保全・再生の波及効果が期待できます。

山内さんからのコメント

この住まいは祖父が入手し、私はここで生まれ育ったことから、とても愛着を感じています。これまで京町家に当たり前のよう暮らししてきましたが、私自身がこの家を守っていくことで京都の文化を守ることに貢献できると思うと、大切にしなければ!という思いが強くなります。



佐野 邸

■建物概要

所在地 : 下京区中堂寺北町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約90㎡

建築年次 : 昭和初期

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 多目的スペース

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



改修後(夜景)

◆活用の概要

学生時代を京都で過ごされた佐野さんは、京都の伝統文化に触れ、多くの京町家が壊されていく現状を知る中で、京町家の購入、再生を決意されました。佐野さんご自身は、茶道と華道を習っておられ、座敷を茶会の場としても活用されています。今後も、この京町家を拠点とした、伝統文化の継承が期待されます。

佐野さんからのコメント

20代の私が京町家を購入するのは勇気がいりましたが、京町家を利用して改めて、京町家の空間に宿るしつらえや作法などの精神性を強く感じるようになり、京町家を選んで良かったと実感しています。多くの方々に日本の伝統に通じるこの精神性を伝えていきたいと思っています。



小西邸 平成24年度景観重要建造物 指定

■建物概要

所在地 : 伏見区深草直違橋

構造規模 : 厨子二階建て 延べ面積 : 約345㎡

建築年次 : 文久元年(1861年)

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 大学施設

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後(内観)

◆活用の概要

小西邸は明治から大正時代にかけて呉服商を営まれていましたが、平成22年以降空き家となっていました。大型町家が連なる家並みは本町通り沿いの優れた歴史的景観に大いに寄与していることから景観重要建造物の指定を受け、建築基準法適用除外条例の適用第1号として改修されました。改修後は、龍谷大学が借り受け「深草町家キャンパス」として学生の研究発表の場や地域住民との協働活動・交流拠点として活用されています。

小西さんからのコメント

短い期間とはいえこの町家に居住していましたので取り壊すには愛着がありましたし、京都市景観・まちづくりセンターはじめ、京都市役所各関係課の皆様の町家保存に向けた熱心なお話を聞き改修することにしました。将来に亘ってこの町家が良好に保存され、昔の面影を残したまま継続して利用されるように願っています。



宮岡邸

■建物概要

所在地：上京区下立売通堀川西入西橋詰町

構造規模：厨子二階建て 延べ面積：約200㎡

建築年次：明治期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

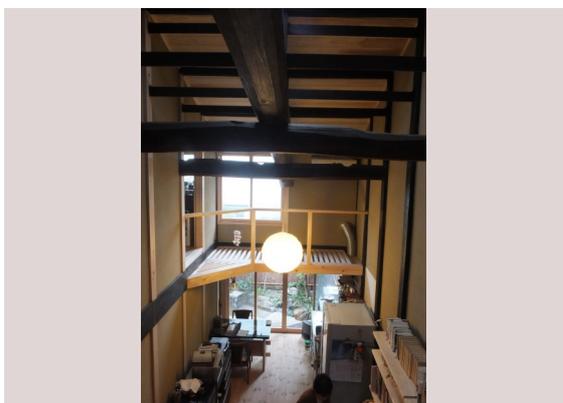
- ・屋根の改修
- ・虫籠窓を含む外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

娘さんのステンドグラス工房用の小さな家を探していた折にこの京町家と出会い、ご夫婦の居住用として再生されました。火袋の復元や井戸を復活されるとともに、一部が現代的な工法に改変されていたものを、本来の伝統的な構造に改修されました。ミセノマ部分は将来、工房としても活用出来るように設計されています。

宮岡さんからのコメント

京町家が好きで憧れていましたが、偶然にこの京町家との縁が出来、設計士さん、大工さん、庭師さんに恵まれ、満足のいく改修が出来ました。長く空き家だった為、この改修を地域の方も一緒に喜んでくださいました。



友田 邸

■建物概要

所在地 : 下京区大宮通五条上る下五条町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約125㎡

建築年次 : 明治45年

用途 : (改修前)住居→(改修後)住居

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・虫籠窓を含む外壁の改修
- ・外部建具の改修
- ・出格子の補修



改修前



改修後



改修後(内観)

◆活用の概要

ご実家の京町家を、ご夫婦の住居として改修されました。現在は関東に生活の拠点があるものの、京都での長期滞在されている時の生活の場として、また、ご親戚やお知り合いが京都に来られた時の宿泊用に活用されています。将来的には、息子さんご夫婦に引き継がれる予定です。

友田さんからのコメント

息子がこの京町家を大切に思い、住み続けると言ってくれたことが、改修を考える大きなきっかけとなりました。私以上にこの京町家に大きな価値を見出している息子ならば、家をさらに次の世代に引き継ぐために、適切な維持管理をしてくれると思っています。



北井邸

■建物概要

所在地：北区紫野下門前町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約110㎡

建築年次：昭和初期

用途：（改修前）空き家→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の補修
- ・外部建具の改修
- ・平格子の補修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

路地奥の織屋建ての京町家に巡り会い、ご家族の住まいとして改修されました。西陣の伝統産業という仕事柄、普段から和服姿の北井さんご夫婦は、和の暮らしやご近所付き合いを大切にしながら、路地の風情を守っていかれる予定です。

北井さんからのコメント

祖父の代から生糸問屋を営み、手作りの布小物の店を開いた時も、今回の住まいも、迷わず織屋建てを選びました。大きな梁が見える大空間と自作の庭が自慢です。仕事場にも近いこの界隈で、先祖から引き継いだ西陣の伝統文化を発信し、子供にも伝えていきたいと思っています。



川 端 邸

■建物概要

所在地 : 上京区室町通上立売下る裏築地町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約160㎡

建築年次 : 昭和初期

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 住居

改修工事の概要(助成対象工事) :

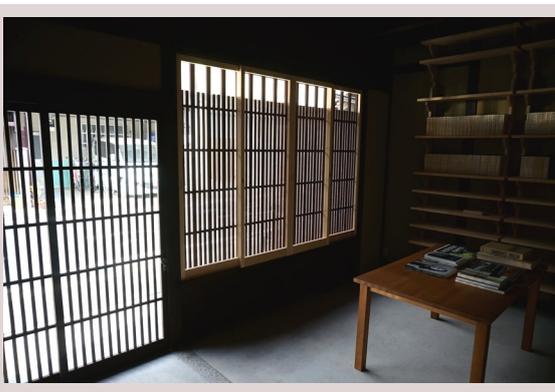
- ・屋根の補修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後(内観)

◆活用の概要

川端さんの曾祖父母の代に建てられ、当初はお住まいとともに、髪結いのお店として活用されていた京町家を、ご夫婦のお住まいとして改修されました。将来的には、ミセノマ部分を友人にお貸しして、雑貨のお店やギャラリーなどに活用する予定です。

川端さんからのコメント

高校時代までこの京町家に暮らしていました。大学や仕事の関係で、一時期京都を離れていましたが、結婚し、新しい家族の生活の場として受け継ぐことを決意しました。夫婦とも造園の仕事に携わっているので、空き地状態の奥庭を自分達でよみがえらせたいと思っています。



田中邸

■建物概要

所在地：上京区下立売通千本東入田中町

構造規模：平屋建て 延べ面積：約95㎡

建築年次：江戸期

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

江戸期にさかのぼる歴史を持つ京町家を、家族の集いの場として改修されました。

今後は、表の土間やミセノマ部分を、地域のお祭りの会場や、石材商を営んでいた頃の思い出の品の展示スペースなどに活用する予定です。

田中さんからのコメント

子供の頃、祖父、父が営んでいた店の石材に乗って遊んだ、思い出深い土間の一部を残しつつ、新たに、家族が法事やお祭りに集うスペースを広げました。大きく傾いた側壁の改修など、大工事になりましたが、この建物の記憶が子供や孫に受け継がれることに、とても満足しています。



谷村邸 / つづれ織工房 おりこと

平成26年度
歴史的風致形成建造物 指定

■建物概要

所在地 : 上京区寺之内通堀川西入東西町

構造規模 : 厨子二階建て 延べ面積 : 約130㎡

建築年次 : 明治後期

用途 : (改修前) 空き家 → (改修後) 住居、工房、ギャラリー

改修工事の概要(助成対象工事) :

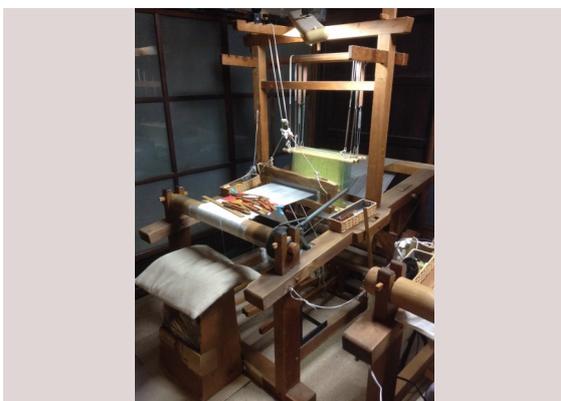
- ・屋根の改修
- ・外壁の補修
- ・外部建具・出格子の補修
- ・駒寄の設置



改修前



改修後



機織り機(改修後の表の間)

◆活用の概要

西陣の京町家を奥様の「爪搔きつづれ織」の工房兼お住まいとして再生されました。織屋建て特有の大空間は構造的な補強がしっかりと行われ、今後はギャラリーとして使用される予定です。つづれ織の作業の様子を見学できるイベント等も開催されており、地域へ開放された空間として伝統産業の継承・発信の拠点の1つとなっています。

谷村さんからのコメント

夫婦が住まう住居を探すにあたって、私たちのライフスタイルに合った京町家を購入し、自分たちでできるところは自分たちで改修してまいりました。京都の、特に西陣の文化と歴史が詰まった織屋建てと呼ばれる京町家を、改めて職住一体の住居に使えることを嬉しく思います。



横井邸

■建物概要

所在地：上京区上立売通浄福寺半丁西入真倉町

構造規模：二階建て 延べ面積：約105㎡

建築年次：明治末期

用途：（改修前）事務所→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

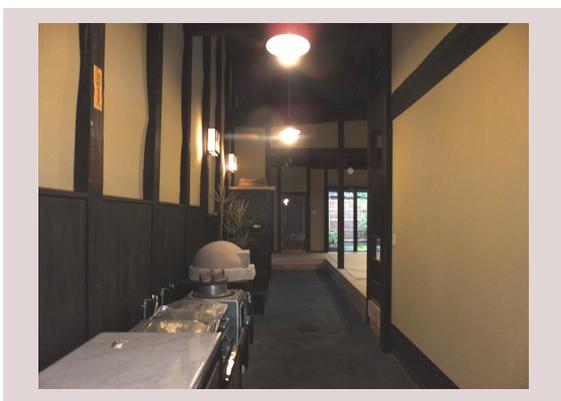
- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

ご実家に近い織屋建ての京町家に出会い、通り側をご夫婦の住まい、奥の吹き抜けの空間をご両親を始め、家族の集いの場として改修されました。今後は、京町家の所有者同士の見学会なども行なっていく予定です。

横井さんからのコメント

外側に大きく傾いていた側壁の改修など、大工事の現場を見守っているうちに、この家への愛着が増して来ました。おくどさんの修復とピザ釜の新設で、京町家ならではのトオリニワの空間がよみがえったように感じます。



高田 邸

■建物概要

所在地：下京区富小路通高辻下る恵美須屋町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約120㎡

建築年次：昭和4年

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

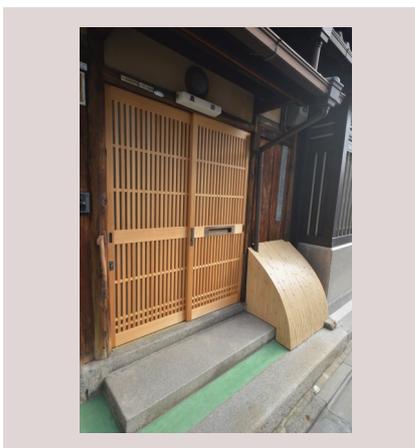
- ・屋根の改修
- ・外部建具・格子の改修
- ・犬矢来の設置・室外機の修景



改修前



改修後



改修後（玄関廻り）

◆活用の概要

「もし地震が起きた時、自分の家が倒壊して近所に迷惑を掛けたくない」「京町家の持つ情緒や歴史性を損ないたくない」御主人様、御子息のそれぞれの思いを合わせ、耐震性を向上させ建築当初の姿へ復元する改修をされました。今後は、地域の歴史的風致の形成にも寄与する象徴的な建物として維持管理され、地域の会合等にも活用される予定です。

高田さんからのコメント

大塀造りの京町家で、隋所に昭和初期における京都の大工の高い技量、貴重な材や漆を施した建具等を見ることができます。日々の手入れをしっかりと行いながら、愛着やこだわりの心を持ち続け、当家を大切に次の世代へ受け渡していきたいと思っております。



村瀬 邸

■建物概要

所在地：左京区吉田泉殿町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約100㎡

建築年次：大正7年

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・屋根の改修
- ・外壁の改修
- ・外部建具・平格子の改修
- ・室外機の修景



改修前



改修後



改修後（内観）

◆活用の概要

祇園から移築されたと伝えられ、先祖から引き継いだ京町家。丁寧に痕跡を拾い上げ、復元的に改修されました。環境負荷が小さく合理的な移築の技術や、通りの風情ある景観を未来に継承する資源として大切にしたいと考えておられます。焼杉板の側壁に面した路地では地蔵盆も行われるなど、地域のコミュニティの活性化も期待されます。

村瀬さんからのコメント

仕事で京町家に携わり、京町家を熟知した設計士や大工棟梁と知り合う中で、京町家の価値を再認識し、抜本的な改修を決意しました。地域金融機関からの支援もあり、改修資金も調達できました。今後は、家庭を持ち、次の世代に京町家の魅力を伝えていきたいと思っています。



竹内邸

■建物概要

所在地：中京区御幸町通夷川上る松本町

構造規模：本二階建て 延べ面積：約80㎡

建築年次：大正6年

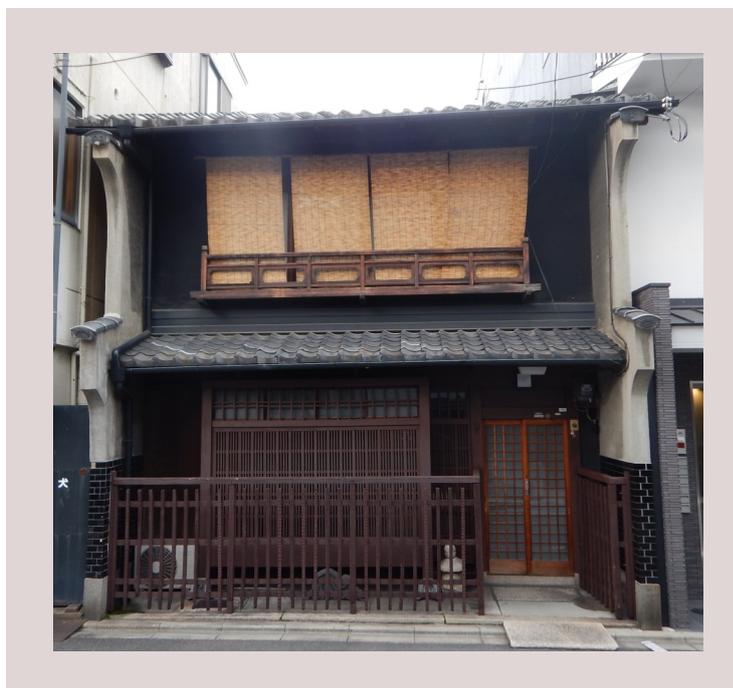
用途：（改修前）簡易宿泊所→（改修後）簡易宿泊所

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁の改修
- ・外部建具・出格子・駒寄の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

約50年前に現所有者が町家を購入された当時から玄関戸、出格子などはそのまま、トオリニワ上部に一部火袋が残り大切に住まわれてきました。

数年前より住まいとしての町家の意匠を変えることなく簡易宿泊所として営業されています。今回は外壁補修、建具補修・出格子及び駒寄補修が行われました。現在も訪れる多くの外国人の方へ町家の姿を発信しています。



井山邸

■建物概要

所在地：中京区堺町通御池上る扇屋町
構造規模：本二階建て 延べ面積：約285㎡
建築年次：明治11年～14年頃
用途：（改修前）住居→（改修後）住居
改修工事の概要（助成対象工事）：屋根の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

表屋造りの元蚕糸問屋の商家で、井山家で代々大切に住まわれています。平成22年にガレージに改変していた1階部分を明治期の外観写真をもとに復元改修し、今回は大屋根の葺き替え改修を行いました。表の間をギャラリーとして、地域の行事などに活用されています。

井山さんからのコメント

当地域は繁華街やターミナルから少し離れた職住共存地区ですが、中高層のマンションやホテルが建設され、京都らしい佇まいや暮らしがドンドン姿を消しています。出来ることなら、京都らしさを引き継ぎ、この地域での発展に町家が少しでも活用できればと考えています。



中川 邸

■建物概要

所在地 : 上京区中筋通千本東入西亀屋町
構造規模 : 厨子二階建て 延べ面積 : 約100㎡
建築年次 : 明治初期 (昭和初期改修)
用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居
改修工事の概要 (助成対象工事) :

- ・屋根の改修
- ・外観の改修
- ・外部建具・出格子の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

織屋建て貸家として住まい兼作業場として使われてきましたが数年前に空き家となりました。現所有者に変わり住まいとして改修されるにあたり、今回は構造の健全化が図られるとともに、屋根の葺き替え、外壁、外部木製建具等の改修が行われました。外観は昭和初期に御影石の腰壁に改装されており、その意匠を踏襲されました。

中川さんからのコメント

近世の部材ではないかと思わせる丸太梁などで構成されるこの町家の、経年劣化による傷みは想像以上のもので工事は難航しましたが、様々な方々のお力を借りすることで、この町家にもう一踏ん張りしてもらったための改修工事ができました。あとは日々の維持管理に目を光らせつつ、町家の居住性や耐震性などを身体で知ることで、今後の町家の保存活用に活かせればと思います。



石田邸

■建物概要

- 所在地：下京区黒門通高辻下る杉蛭子町
構造規模：本二階建て 延べ面積：約 275㎡
建築年次：大正14年
用途：（改修前）住居→（改修後）住居
改修工事の概要（助成対象工事）：
・屋根の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

黒門通に建つ大塀造り。石田家で大切に住み継いでこられています。通りの伝統的な景観を残すよう隣の町家も伝統的工法で修復されました。また、先祖から伝わる杉蛭子大神宮のご神体を町内に貸し出して町内にて蛭子祭を開いておられます。

今回は大屋根の葺き替え改修が行われました

石田さんからのコメント

曾祖父が建てた住まいをできる限り建てた姿のまま住み続けていきたいと考えています。職人さんの減少や諸費用の値上がり、ライフスタイルの変化など、京町家を維持することが難しくなるなか、このような制度を支えて戴いている皆様に感謝申し上げます。



西 森 邸

■建物概要

所在地 : 中京区御池通大宮西入門前町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約120㎡

建築年次 : 昭和6年

用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居

改修工事の概要 (助成対象工事) :

- ・ 外壁、外部建具、通り庇の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

神泉苑の近くに建つ本二階建て町家。主屋の奥は染色工場で、西森さんも染物の仕事を一筋に打ち込んでこられました。通りにふさわしい外観へ復元することを希望され、近隣の町家を参考に外観を改修されました。

今後は、オモテの土間で染物に関する展示を通して、地域に開く場所へしていきたいと考えておられます。

西森さんからのコメント

門前町に先代が友禅板場を新築して95年余。京小紋、型染に一心に頑張っまいました。親より授かりし心身で、戦前、戦後と昭和後期、平成そして令和へ、まもなく卒寿(90歳)です。次代へ引き継ぐために、外観改修いたしました。オモテの土間では今まで手掛けてきた染物を展示しています。



俵 邸

■建物概要

所在地 : 下京区正面通西洞院東入蛭子水町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約120㎡

建築年次 : 昭和6年

用途 : (改修前)住居→(改修後)住居

改修工事の概要(助成対象工事) :

- ・外壁、外部建具、通り庇の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

西本願寺近くに建つ本二階建て町家。元は豆腐店を営んでおられました。外観は当初の姿をふまえつつ、構造上の検討をおこない、昭和初期の町家によく見られた意匠に伝統的工法で改修されました。

今後は、ミセノマを地域に開き活用していく予定です。

俵さんからのコメント

素晴らしいメンバー、設計士さん、大工さん関連工事の職人さんたちに恵まれ、希望に沿った改修が実現しました。私も少し参加しました。先祖が残してくれた資産と生活文化を後世に引き継ぐことが出来ました。今は家族で町家と各自のスキルを生かしたビジネスモデルを追求しております。家族皆で町家とともに古くて新しい生活を楽しんでいます。



高井 邸

■建物概要

所在地 : 上京区油小路通中立売上る油橋詰町

構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約150㎡

建築年次 : 大正期

用途 : (改修前) 住居 → (改修後) 住居

改修工事の概要 (助成対象工事) :

- ・ 外壁、外部建具、大屋根、通り庇の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

油小路通りの樂美術館に隣に建つ本二階建て町家。通りにふさわしい町家本来の外観にしたいとのことで、改修して次代へ継承することを希望されています。

外観は構造上の検討もおこない、建築当初の姿に復元し、改修されました。今後も所有者家族でお住まいになります。

高井さんからのコメント

思い出の詰まった町家を次世代に引き継ぐため、外観を旧態に戻しました。前面の軒、以前は雨の日でも近所ならば傘なしに往来した通り庇も、一軒だけではと寂しく思いながら、深い軒先に雨宿りもできると昔ながらの風情を楽しんでいます。今回は丸一年の大工事でした。今後は適宜手入れしながら、わが家をいつまでも残したいものです。



望月邸

■建物概要

- 所在地 : 下京区油小路六条上るト味金仏町
構造規模 : 本二階建て 延べ面積 : 約340㎡
建築年次 : 昭和5年
用途 : (改修前) 住居→(改修後) 住居
改修工事の概要(助成対象工事) :
・大屋根、通り庇の改修



改修前



改修後



◆活用の概要

油小路通に面して建つ本二階建て表屋造りの町家で2階は蔵造りです。表屋はお店として建てられ、旧橋家で化粧品の間屋さんを営まれていました。昭和初期の町家の特徴をよく残し、これからも大切に住み継いでゆくため、今回は大屋根と通り庇の改修をされました。現在は住まいのみですが、表屋のミセノマの一部公開等も検討されています。

望月さんからのコメント

昭和5年に祖父が新築したお店兼住宅で、廊下・中庭・通り庇等が建築当初のままで、町家独特の雰囲気醸し出しています。町家が解体されていく様子を何軒も見るとつれ残念に思っています。なんとか昭和初期の建物が令和にも、また次の時代に残せたらと願っています。



太平治家

■建物概要

所在地：左京区北白川下池田町

構造規模：ツシ二階建て 延べ面積：約190㎡

建築年次：明治初期

用途：（改修前）住居→（改修後）

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁、外部建具、通り庇の改修



改修前



改修後



改修後

◆活用の概要

太平治家は、志賀越道に面して建つ代々石工を生業として家で、石工を廃業後は時代の流れとともに芸術家や研究者を目指す若者の下宿や食堂を営んでこられました。今回、建築当時の姿に復元改修し、景観に寄与することで、北白川の歴史を伝えていく建物としての活用を目指しています。

太平治さんからのコメント

北白川天神宮の向かい、その御旅所に隣接し、江戸期より度重なる火災に耐えてきた千年蔵や口ノ蔵を持つ大切な建物です。復元にご尽力いただいた方々に感謝し、志賀越道の景観まちづくりに少しでも貢献できるように活用に努めたいと思います。



服部邸

■建物概要

所在地：上京区大宮通寺之内上る西入東千本町

構造規模：ツシニ階織屋建て 延べ面積：約220㎡

建築年次：大正期

用途：（改修前）住居、作業場→（改修後）住居、織工房

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁、外部建具、格子、通り庇、塀の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

寺之内通の一筋北側、鉾参通に面して建つツシニ階織屋建ての町家です。西陣の地にあり、紋彫職人が3代に渡り職住一体の町家として使われてきました。しばらく空き家となっていました。服部さんが後を引き継ぎ、外観を通り景観に寄与するよう復元改修されました。今後は若手職人の作業場とするとともに、織染の体験・交流の場とし文化を継承できるよう考えておられます。

服部さんからのコメント

長らく空き家となっており、傷みも多かったこの町家ですが、今回の改修で外観が綺麗に刷新されることで、地域の方々にも喜んでいただけました。今後も、家業の織物製造とともにこの町家も次世代へ残し続けていけるよう、活用に取り組んでいきたいと思っています。



飯田邸

■建物概要

所在地：中京区麩屋町通錦小路下る栴屋町

構造規模：ツシ二階建て 延べ面積：約210㎡

建築年次：大正11年以前

用途：（改修前）住居→（改修後）住居

改修工事の概要（助成対象工事）：

- ・外壁、外部建具、格子、通り庇の改修



改修前



改修後

◆活用の概要

麩屋町通に面して建つツシ二階建て町家。飯田家の曾祖父の代に移り住み機械工具販売店を営まれていたとのことで、それ以前は呉服店であったと伝わります。これからも大切に住み継いでゆくため、通りの伝統的な景観を残すよう、痕跡調査をおこない伝統的工法で修復されました。現在は住まいのみですが、ミセノマ等の一部公開等も検討されています。

飯田さんからのコメント

町家が日々壊されていくニュースを耳にします。まだまだ十分に住むことができる家が壊されるのはかわいそうにおもいます。愛着のある家を元々の姿に復元して、町家のある街並みを残すことができればと今回京町家まちづくりファンドのお力をお借りして実現しました。